



プレスリリース

2026 年 9 月 10 日
Tokyo Gendai 広報事務局

芸術の秋を彩る国際アートフェア 第 4 回「Tokyo Gendai」がいよいよ開幕!



- 日本を代表する現代アートフェア「Tokyo Gendai」が、パシフィコ横浜にて第 4 回の開催を迎えます。
- 会期は 2026 年 9 月 11 日（金）から 13 日（日）まで。
週末を通じて、多彩なイベントや特別プログラムを展開します。

今年で第 4 回を迎える国際アートフェア「Tokyo Gendai」は、2026 年 9 月 11 日（金）から 9 月 13 日（日）までの 3 日間、パシフィコ横浜にて開催されます。今年は、伝統的な技法を生かした作品から、写真やデジタルメディアを用いた作品まで、現代アートの多様な表現を幅広く紹介します。国内外約 70 のギャラリーによる展示に加え、例年人気のトークセッション「Art Talks」、インスタレーション、パフォーマンス、特別イベントなど、多彩なプログラムを会期中に展開。世界中のギャラリー、アーティスト、コレクター、キュレーター、そしてアートファンが集う国際的なプラットフォームとして、日本と世界のアートシーンをつなぎます。

プリンシパルパートナーには、4 年連続、株式会社三井住友ファイナンシャルグループ（以下、「SMBC グループ」）、プレミアムパートナーには DIOR、そしてシャンパーニュパートナーには Perrier-Jouët、ビューティーパートナーにはポーラが就任しています。開催に先立ち、本日 9 月 10 日（木）には招待客向けプレビューおよびヴェルニサージュが行われる予定です。

■主催者および関係者コメント

Tokyo Gendai フェアディレクター 高根枝里

「本日、第 4 回 Tokyo Gendai を開幕できることを大変嬉しく思います。日本国内、そして世界各地から、素晴らしいギャラリー、アーティスト、オーディエンスの皆さまをお迎えすることができました。今年の会場では、長く受け継がれてきた伝統と新たな実践、そして多様なアプローチや表現が豊かな対話を生み出しています。出展者、ご来場者、そして Tokyo Gendai を支えてくださる皆さまを心より歓迎するとともに、これから数日間で生まれる対話や発見、新たなつながりを楽しみにしています」



Tokyo Gendai 共同創設者 マグナス・レンフリュー (Magnus Renfrew)

「世界各地から出展者、コレクター、来場者の皆さまを Tokyo Gendai にお迎えできることを嬉しく思います。2023 年の初開催以来、私たちは、日本における国際的なアートシーンの重要な交流拠点をつくることを目指してきました。それが年々発展していることを大変嬉しく感じています。日本のアート・エコシステムは着実に力を増しており、現在ここで活動する多くのアーティスト、ギャラリー、文化機関のためのプラットフォームとなるとともに、海外から訪れる方々に、この豊かな文化的環境を知っていただく入口となれることを光栄に思います」



■展示セクターと出展ギャラリー

Tokyo Gendai では、国内外 69 のギャラリーを 5 つの主要セクターに分け、国際的に活躍するアーティストから新たな表現に挑むアーティストまで、多様なメディアによる現代アートを幅広く紹介します。確立された表現と新たなアプローチが会場各所で交差し、現代アートの多様な広がりをお楽しみいただけます。

「Galleries (ギャラリーズ)」のセクターでは、出展ギャラリーを代表する複数のアーティストを展示。「Hana 'Flower」のセクターでは、若手～中堅アーティスト 1 人もしくは複数人による作品展示を特徴とし、「Eda 'Branch」では、著名なアーティストや美術史的に重要な作家による個展やグループ展に加え、特定のテーマに基づいてキュレーションされた展示を紹介します。今年、新設された「Miki 'Trunk」は、写真、ドローイング、版画など、紙を媒体とする作品に特化したセクターです。また、今年は「Tane 'Seed」セクターが復活し、NFT (非代替性トークン)、アニメーション、映像、AR (拡張現実)、VR (仮想現実)、ゲームなど、デジタルメディアに焦点を当てた作品を展示します。

ギャラリー展示の詳細は、[こちらの](#)プレスリリースをご覧ください*。

*9月10日時点の最新のギャラリー情報を一部更新

■注目プログラム一覧

●Art Talks

例年人気の高いトークプログラム「Art Talks」が 2026 年も開催されます。アーティストのローレン・クインや草野絵美、ブルックリン美術館 近代・現代美術キュレーターのキンバリー・ガント、建築家の青木 淳、アートコレクターの大林剛郎、アーティスト兼チュールデザイナーのイリス・ヴァン・ヘルペン、CFCL 代表兼クリエイティブディレクターの高橋悠介など、アート業界を代表する多彩な登壇者が一堂に会します。会期中を通じて、現代アートをめぐる最新かつタイムリーなテーマについて議論を交わし、Tokyo Gendai の来場者に向けてさまざまな視点から読み解く機会を提供します。

Art Talks の詳細は、[こちらの](#)プレスリリースをご覧ください。

●Sato 'Meadow'

大型のサイトスペシフィック・インスタレーションやパフォーマンスに焦点を当てた「Sato 'Meadow」が、2026 年も Tokyo Gendai に登場します。会場全体を舞台に、ブース展示の枠を超えた多彩な作品を展開するほか、今年はフェアとして初めて映像作品のスクリーニングプログラムを実施し、出展ギャラリー所属作家の作品を大型 LED で上映します。

Sato 'Meadow'の展示詳細は、[こちらの](#)プレスリリースをご覧ください※。

※9月10日時点での最新の展示情報を一部更新

●Ne 'Root'

「Ne 'Root」では、日本を代表する芸術文化財団・団体が、それぞれの取り組みを紹介する特別展示を行います。

参加財団：小田原文化財団 江之浦測候所、日本現代美術商協会 (CADAN)、青春芸術村 (公財)吉井財団

●Hana Artist Award

フェアにおける「Hana 'Flower」」セクターに参加する優れたアーティストに贈られるもので、若手～中堅のアーティストが対象となります。今年の審査員には、キュレーターであり、英メディア『Observer』のアートライターも務める**エリサ・カロロ**、森美術館シニア・キュレーターの**徳山拓一**、コレクターの**モニーク・ロング**の3名を迎え、フェアを象徴するプレゼンテーションを行う優れたアーティスト 1 名を選出します。本アワードは **ArtSticker** の協力により実施され、フェア会期中の特別表彰とともに賞金 100 万円が授与されます。

●AMA Artist Award 2026 年受賞者展示

ロサンゼルスを拠点に活動する現代アーティスト、**ウマー・ラシッド**が、2026 年の「AMA Artist Award」受賞を機に、Tokyo Gendai のために特別に制作した新作を紹介します。本アワードは、世界各国でアートフェアを運営する「Angus Montgomery Arts (AMA)」による取り組みで、北米を拠点に活動する初期から中堅キャリアのアーティストを支援するもので、受賞者には、現金 1 万米ドルを含む総額 10 万米ドル相当の賞が贈られ、アジアを代表する現代アートフェアである India Art Fair および Tokyo Gendai において、作品展示機会が与えられています。

●キュレーター・シンポジウム

2025 年に初開催され好評を博した「キュレーター・シンポジウム」が、Tokyo Gendai 2026 に再び登場します。9 月 11 日 (金) 午前に開催される本イベントには、日本各地で活躍するキュレーターに加え、海外のキュレーターや美術館・文化機関の関係者が参加します。今年のシンポジウムには、ブルックリン美術館近代・現代美術キュレーターの**キンバリー・ガント**と、東京都現代美術館学芸員の**小高日香理**が登壇します。少人数で意見を交わす場として企画されており、地域や分野を超えた専門家同士の対話や知見の共有、将来的なコラボレーションにつながる交流を促進するとともに、Tokyo Gendai に出展する国内外のギャラリーとの交流機会も提供します。

●VIPプログラム

Tokyo Gendai の開催期間中は、世界各国から来場するコレクターを迎え、多彩なツアーやアクティベーション、特別イベントを実施します。

現代アートと豊かな自然が調和する**瀬戸内地域**を巡る少人数制ガイドツアーでは、直島・犬島・豊島を舞台に展開する**ベネッセアートサイト直島**を訪れます。また、現代美術作家・**杉本博司**が設計した**小田原文化財団江之浦測候所**を特別に訪問するプログラムでは、小田原の海岸線に広がる、アート、建築、風景が融合した空間を鑑賞します。

Tokyo Gendai の期間中は、日本を代表するギャラリーや美術館・文化機関が、特別イベントや展覧会、各種アクティベーションに加え、レセプションなど多彩なプログラムを開催します。**森美術館「ロン・ミュエク」展、国立新美術館「ルーヴル美術館展 ルネサンス」展、東京国立近代美術館「杉本博司 絶滅写真」展**などに加え、**UESHIMA MUSEUM** の特別ツアーや、東京・天王洲の **TERRADA ART COMPLEX** で、「**TENNOZ ART WEEK 2026**」期間中に開催されるイブニングレセプションも予定されています。

■Tokyo Gendai 開催概要

開催日時: 2026 年 9 月 11 日 (金) - 13 日 (日)

*招待客向けプレビューおよびヴェルニサージュは 9 月 10 日(木)に開催

開催場所: 横浜国際平和会議場 (パシフィコ横浜) 展示ホール C/D
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

販売チケット一覧:

一般	5,000 円
ヴェルニサージュ	30,000 円
Friday Evening Ticket	3,000 円
大学生	1,500 円
中高生/障がいのある方	1,000 円

チケット購入: [ArtSticker](#) と [イープラス](#) にてチケット販売中

ヴェルニサージュ (招待制特別内覧会/50 枚限定) 特典:

- 9 月 10 日 (木) 17 - 18 時 ヴェルニサージュへのご入場
- 9 月 11 日 (金) - 9 月 13 日 (日) 一般会期中に何度でもご入場可能
- 9 月 11 日 (金) - 9 月 13 日 (日) 一般会期中に開場時優先入場
- Perrier-Jouët のシャンパーニュ 1 杯サービス
- Tokyo Gendai Art Pass 付き
(ソーホーハウス東京や都内で開催中の特定の展覧会の無料入館パス)

特典に関する詳細は[こちら](#)をご覧ください。

*ヴェルニサージュを除くすべてのチケットは、会期中 1 日限りでご入場いただけます。

*一般、ヴェルニサージュ、Friday Evening Ticket は、大人 1 人につき小学生以下 2 名まで無料です。必ずチケットをお持ちの保護者の方と一緒にご入場ください。

*学生チケットは学生証のご提示をお願いいたします。

*障害のある方のチケットは、証明書をお持ちの方 1 名様に対してご同伴者 1 名様に限り、無料でご入場いただけます。証明書のご提示をお願いいたします。

*すべて税込価格で記載しております。

■出展ギャラリー一覧

Galleries

ア・ライトハウス・カナタ (東京)、セイソン & ベネディエール (サン・ティエヌ、ルクセンブルグ、パリ、ジュネーヴ、ニューヨーク、リヨン、パネリ、東京)、ギャラリー サイド 2 (東京)、Gana Art (ソウル、ロサンゼルス)、カイカイキキギャラリー (東京)、KOSAKU KANECHIKA (東京)、KOTARO NUKAGA (東京)、ミヅマアートギャラリー (東京、シンガポール)、NANZUKA (東京)、Pace Gallery (ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、ジュネーヴ、ベルリン、ソウル、東京)、Sadie Coles HQ (ロンドン)、スペースアン (東京)、Sundaram Tagore Gallery (ニューヨーク、シンガポール、ロンドン)、タカ・イシイギャラリー (東京、京都、前橋)、TARO NASU (東京)、The Page Gallery (ソウル)、Upsilon Gallery (ニューヨーク、ロンドン、ミラノ、香港)

Hana 'Flower'

A2Z アートギャラリー (パリ)、AAIE (ローマ、香港)、Art of Nature Contemporary (香港、福州)、ARTCUBE 2R2 Gallery (ソウル)、AWASE gallery (東京)、CON_ (東京)、Dom Art Gallery (ドバイ)、Gallery Common (東京)、ギャラリー門馬 (札幌)、HARUKAITO by ISLAND (東京、熱海)、Jacob Arthur Gallery (ロサンゼルス)、JD Malat Gallery (ロンドン、ドバイ)、鎌倉画廊 (鎌倉)、LA BIBI GALLERY (パルマ・デ・マヨルカ、メキシコシティ)、Lett Thomas (オークランド)、女性の光 (ニューヨーク、ロンドン、パリ、メキシコシティ)、MAKI Gallery (東京)、Marco Gallery (大阪)、MISA SHIN GALLERY (東京)、MtK Contemporary Art (京都)、NOGADA (ソウル)、Nomadic Gallery (東京)、noon (アントワープ、ゲント、クノック)、Sofi Gallery (ベルガモ、ニューヨーク、上海)、STANDING PINE (東京)、Suppoment Gallery (ソウル)、タオス・ギャラリー・トウキョウ (東京)、THE HARTZ PROJECT (香港)、Verduyn Gallery (モレゲム)、W-Galería (ブエノスアイレス、マルドナド)、Wada Fine Arts Y++ (東京)、Yoshiaki Inoue Gallery (大阪)、YUMEKOUBOU GALLERY (京都、香港、パリ)、Yutaka Kikutake Gallery (東京)

Eda 'Branch'

一穂堂ギャラリー (東京、ニューヨーク)、みぞえ画廊 (東京、福岡)

Miki 'Trunk'

ART ON SPACE (仏山)、BANGKOK CITYCITY GALLERY (バンコク)、Boogie Woogie Photography (香港)、Curatorial Gallery (ロンドン)、Fabrik Projects (ロサンゼルス)、Form Photography Gallery (ディナール)、HART GALLERY (杭州)、John Szoke Gallery (ニューヨーク)、ザ・トールマン コレクション (東京、ニューヨーク)、UP Gallery (新竹市)、X Contemporary Art (長沙)

Tane 'Seed'

Chi-Wen (台北)、Double Square Gallery (台北)、Project Fulfill Art Space (台北)、TAEX (ロンドン)、Takuro Someya Contemporary Art (東京)

■オフィシャルパートナー一覧

Principal Partner: SMBC グループ

Official Premium Partner: DIOR

Official Champagne Partner: Perrier-Jouët

Official Beauty Partner: ポーラ

Official Fair Partner: LALIQUE、LED TOKYO

Official Supporting Partner: 寺田倉庫、The Breakthrough Company GO、ArtSticker、NOT A HOTEL、SOHO HOUSE

Official Media Partner: ハースト婦人画報社、日本経済新聞社

Official Food & Beverage Partner: MAISON CINQUANTECINQ

Official Lounge Partner: Vitra

Official Hotel Partner: ウェスティンホテル横浜

SMBC グループについて

SMBCグループには、時代とともに芸術活動を支えてきた長い歴史があり、各種イベントへの協賛や、本部ビルを活用したアート作品の展示などを通じて、アーティストの表現活動支援や、作品を身近に感じていただける機会の提供に努めてまいりました。2026 年度からの新たな中期経営計画においても、社会的価値創造の取組を一層高度化することを掲げています。SMBCグループは、これからもアートの魅力を広くお伝えし、創造性が社会に新たな価値をもたらす機会を支えながら、人々の幸せがあふれる社会の実現に貢献してまいります。

DIOR について

ディオールの創設者である、クリスチャン・ディオールは、芸術を愛するコレクターであり 23 歳の時に友人と共にギャラリーを開きました。1946 年のメゾン創設以来、彼は自身の夢を魅力的なクリエイションに昇華させ、10 年間でエレガンスの常識を革命的に変えました。彼の後継者たちは芸術との大胆で革新的なつながりを通じて、その情熱と遺産を受け継いでいます。

Perrier-Jouët について

ペリエ ジュエは 1811 年にエペルネで創立されたフランス屈指の歴史あるプレステージ・シャンパーニュメゾンです。シャルドネを基調としたエレガントで花のようなスタイルが特徴。1902 年にエミール・ガレが描いたジャパニーズ・アネモネ（秋明菊）がメゾンの象徴になり、以来、クリエイティブな才能との共同制作を通じて自然とアートへの深い敬意を体現しています。

ポーラについて

ポーラは「Science. Art. Love.」の理念に基づき人生をより豊かにする美しさを追求します。また、最高峰ブランド B.A は“人の可能性は広がる”というポリシーのもと、時間や年齢にとらわれず自分史上最高を目指す生き方を提唱しています。

Tokyo Gendai について

Tokyo Gendai は、国際的に著名な現代アートギャラリーが一堂に会して、アート作品の展示・販売を行う世界レベルのフェアで、2023 年 7 月に初開催されました。アート作品の販売だけでなく、日本と世界のアートシーンをつなぎ、ギャラリーやアーティスト、コレクターやオーディエンスといった幅広いアートコミュニティが集うプラットフォームとして、新たな視点やアイデアの共有を促進します。本フェアでは、ギャラリーによる展示だけでなく、特設の展覧会やアートトーク、インスタレーションといったパブリックプログラム、そして日本各地の美術館と連携したオープニングイベントやアーティストスタジオ訪問などの招待客向けプログラムも併せて開催され、多角的なアート体験を提供します。

Tokyo Gendai 公式サイト: <https://tokyogendai.com/ja/>

Tokyo Gendai 公式 X: <https://twitter.com/tokyogendai/>

Tokyo Gendai 公式 Facebook: <https://www.facebook.com/tokyogendai/>

Tokyo Gendai 公式インスタグラム: <http://instagram.com/tokyogendai/>

■ オフィシャル素材

https://dentsuprc.jp/opening_release

※Password: TokyoGendai2026

※画像を使用する際、「©Tokyo Gendai」をご表記ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

Tokyo Gendai 広報事務局 E メール: press@tokyogendai.com